





IWAT'E

震災の教訓を共有し、 復興の知恵を次世代へ

東日本大震災から15年を迎えるにあたり、

東北3県で培った官民連携の知見と、

復興の途上にある能登地域の現状や課題を共有し、

対話を通じて今後の地域間連携のあり方を共に考える機会として開催します。

PUKUSHIMA

MIYAG

日時

2025年 12月20日(土)

13:30~16:30 [開場/13:00]

会場

石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地



アクヤス

金沢駅西口よりバス「工業試験場」下車 徒歩3分またはタクシー約15分

お問合せ

「新しい東北」官民連携推進協議会 イベント事務局

E-mail newtohoku-event@jtbcom.co.jp

TEL 022-222-1582 (受付時間: 9:30~17:30 土日祝日除く)

プログラム

- ①官民連携推進協議会の取組について 石川県+副代表大学(岩手・宮城・福島)による講演
 - ○金沢大学:谷内江 昭宏氏
 - ○岩手大学: 五味 壮平 氏
 - ○東北大学:姥浦 道生 氏
 - ○福島大学:藤室 玲治 氏

②能登×東北 対話の時間

金沢大学・東北3県・自治体・企業等によるトークセッション

新しい東北の取り組みから考える、 復興における官民連携の姿

若者たちのメッセージ

- ①実践の場(フィールドワーク)映像上映
- ②交流セッション(学生同士の対話)
 - ・私たちが地域のためにできること
 - ・復興における若者の役割
 - ・地域に住み続ける/離れる理由

お申込みはコチラ!▶

右記二次元コードよりお願いいたします

申込み締め切り:12月18日(木)まで



「新しい東北」官民連携推進協議会 東北3県・石川県合同セミナー

震災の教訓を共有し、復興の知恵を次世代へ



金沢大学 理事・副学長 能登里山里海未来創造センター長 谷内江 昭宏 氏 やちえ あきひろ

小児科(アレルギー・免疫)専門の医学博士。能登半島地震では医療支援や被災地支援拠点の整備を進め、学生と共に地域復興に取り組み、災害に強い持続可能な社会づくりを目指しています。



岩手大学人文社会科学部 人間文化課程 教授

五味 壮平 氏

東日本大震災後の地域再生にあたり、陸前高田市を舞台に、学生たちとともに活動を行うとともに、岩手大学と立教大学が共同で設置した陸前高田グローバルキャンパスの企画・運営等に携わってきました。地域と大学・学生をつなぐしくみづくりに実践的に取り組んでいます。



東北大学 災害科学国際研究所 教授

姥浦 道生 氏

東日本大震災を中心とした、大 規模災害からの復興に伴う空間利用(土地利用)の変遷の実態と課題について、特にその復興を支える空間的計画・規制・ 事業との関連性を通じて明らかにすることに取り組んでいます。



福島大学 センター・研究所等 地域未来デザインセンター 特任准教授

藤室 玲治 氏

阪神・淡路大震災を機に災害ボランティアを始め、東日本大震災など各地で「被災者とのコミュニケーションが災害支援の原点」と考え、大学生と被災者が足湯やサロンで交流する活動を展開。福島でも、大学生とともに災害伝承やコミュニティ再生に取り組んでいます。

プログラム

13:00	開場·受付開始	
13:30	オープニングトーク(復興庁ほか)	本セミナーはオンライン配信で ご覧いただけます。
13:40	【第1部①】官民連携推進協議会の取組について石川県+副代表大学(岩手・宮城・福島)による講演 (講演テーマ) 【金沢大学 谷内江 昭宏氏「能登地域の復興の現状と課題」 【岩手大学 五味 壮平氏「災後の地域に大学はいかに関わり得 「東北大学 姥浦 道生氏「官民連携による復興まちづくり事業」 【福島大学 藤室 玲治氏「学びの地、挑戦の地・福島に集う若る	J
14:25	【第1部②】能登×東北 対話の時間 金沢大学・東北3県・自治体・企業等によるトークセッション 「テーマ」『新しい東北の取り組みから考える、復興における官民選	ファシリテーター
15:00	休憩	
15:10	 【第2部】若者たちのメッセージ (1)実践の場(フィールドワーク)映像上映 (2)交流セッション(学生同士の対話) 【例】・私たちが地域のためにできること・復興における若者の役割・地域に住み続ける/離れる理由 	株式会社makes 代表取締役
16:30	閉会	など、外国人観光客を含む観光 マーケティング・コンサルタント
		として活動。

主催: 「新しい東北」官民連携推進協議会/復興庁

| 岩手県、岩手大学、岩手銀行、いわて連携復興センター/宮城県、東北大学、七十七銀行、みやぎ連携復興センター/ N 福島県、福島大学、東邦銀行、ふくしま連携復興センター / ア

- ■共催:金沢大学 能登里山里海未来創造センター ■連携先:能登官民連携復興センター
- ■協力:副代表団体、実行委員会に参加した高校生・大学生

「新しい東北」 官民連携推進協議会 についてはこちら

